



知的財産という新たな分野の専門性を高める必要があります。このため、農林水産省では、普及組織による知的財産を活用した取組を支援する具体的な方策の検討を進めているところです。都道府県におかれましても、国の研修等を活用し、具体的な取組を進めていく必要があります、このための計画づくりが必要であると考えております。

最後に、本年11月に、生活技術研修館で知的財産活用研修を実施しますので御案内します。多くの都道府県から、この研修に参加頂き、その成果を持ち帰って広げて頂ければと思います。

<知的財産活用研修>

日時：11月29日～12月1日（3日間）  
場所：農林水産研修所生活技術研修館（茨城県つくば市）  
内容：知的財産権に関する各種制度の概要、活用方策、普及組織による取組事例研究等

担当：普及・女性課研修指導班 03-3502-8111（内線4286）

「幸せを運ぶ鳥 コウノトリがよみがえる」放送のお知らせ

e-普及だより28号の編集後記でもお伝えしておりました、兵庫県豊岡農業改良普及センターが積極的に取組に参加された、環境保全型農業への転換によるコウノトリ保護の取組に関して、以前にNHKスペシャルで放映されましたが、10月9日（月）に、NHKBSハイビジョンで俳優、柳生博さんがリポートするという形で1時間50分の拡大版になって放映される予定です。以前の放映を見逃した方だけでなくご覧になった方も併せてご覧いただきたいと思います。

NHKBSハイビジョン特集  
「幸せを運ぶ鳥 コウノトリがよみがえる ～里山復活をめざした40年～」

日時：10月9日（月）午後9：00～10：50  
[http://www.nhk.or.jp/bs/navi/docum\\_fw.html](http://www.nhk.or.jp/bs/navi/docum_fw.html)

【インターンシップの報告】

18年8月28日～9月8日までの2週間、普及・女性課でインターンシップを実施しました。普及事業に関する業務を体験された方から下記の通り報告がありましたので掲載いたします。秋山さんのご実家は農家で、普及指導員にもお世話になっているそうです。（掲載についてはご本人から承諾済み）

インターンシップ報告書

千葉大学 園芸学部2年

秋山 茂美

最大の収穫は、たくさんの方と出会えたことにあります。大学2年の夏休み、最大の経験であり、思い出となりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

二週間、毎日通った普及・女性課とも別れたと思うと、とても寂しいです。しかし、一足先にこのような経験が出来たことは、今後の人生に影響を与える価値あるものであったように感じています。わたしは、大学に入学してからというものどこか物足りなさを感じていました。単調に繰り返される毎日に、何か刺激が欲しい、インターンシップに参加した背景にはそういった気持ちもあったと思います。昼食の時間や、懇親会の中で、仕事以外の話をする機会が何度もありました。その際、「今しかない時間を大切に使って欲しい」という旨のお話をしばし耳にしました。大学生活という自由な時間の中で、できることはたくさんありますが、何事にも挑戦するには勇気が伴います。これまで私はその勇気が出ませんでした。いつも逃げていたような気がします。インターンシップに参加することにも勇気が必要であったことは確かですが、今の自分と言えることは、経験は何事にも勝るといえることです。今後は少しの勇気と少しの余裕を持って積極的に生きていこうと思います。人生は選択だと言いますが、何をすることも選択が伴います。これまで歩んできた道程の中で、大学入試が最初の選択でした。今後は就職という大きな選択をしなければなりません。将来は公務員になりたいと漠然と考えてきましたが、公務員がどのような仕事をし、またどのような役目を担っているのか学んだ気がします。このことは何よりの財産です。

最後に、「今の学生は、大学時代にこういう経験ができて羨ましい。」という意見も頂きました。まさにその通りであるように感じています。公務員は国民のために、国民のためにを第一に考えた仕事出来る点に、やり甲斐と責任が

あるように思います。わたしも自分の仕事に誇りを持った社会人になりたいです。普及・女性課には日本の農家や農業について、日夜真剣に取り組む方々がいます。そうした姿を見たことで、農業に対する希望を膨らますとともに、今後の進路について考えるまたとない機会となりました。このようなチャンスを得たこと、情熱あふれる皆様に会うことができたこと、素晴らしい出会いに感謝します。本当にありがとうございました。（終わり）

-----  
【農業改良資金最新貸付事例紹介】  
-----

「アスパラガス導入による経営の安定」

1. 借受農家の経営概要と資金借受の動機  
借受者は土地利用型作物に野菜を組み合わせた複合経営を行っている。今回、後継者が就農したことをきっかけとして野菜の新たな品目としてアスパラガスを導入して園芸部門の安定及び発展を図ることとし、農業改良資金を利用して施設を整備することとした。

2. 導入した機械、施設等

区 分	事業費	借受額
パイプハウス一式	11,587千円	11,500千円

3. 新部門の内容

農業改良措置の種類：新農業種類の経営開始  
水稻等、野菜（ホウレンソウ、タマネギ、ナス）

↓  
水稻等、野菜（ホウレンソウ、タマネギ、ナス、アスパラガス）

農業改良措置の認定についての考え方  
当該地域は野菜の栽培も盛んであるが、アスパラガスの導入はほとんど行われていない。しかし後継者が研修を受けてきていること等から十分栽培可能であり、今後は新規品目の一つとして期待されるとともに、地域への波及も考えられる。

4. 普及指導センターの支援内容  
アスパラガスの栽培面の指導及び労働力を考慮した経営全体の助言等を行った。

\*\*\*\*\*

★編集後記★

\*\*\*\*\*

朝晩の通勤のたび、涼しさを感じるようになりました。また、新内閣発足、農林水産大臣の交代と、平成18年度の下半年はめまぐるしく始まりましたが、気持ちを新たに頑張っていきたいと思います。

本号に報告を掲載しておりますが、農林水産省ではインターンシップを毎年行っております。当課の者にとってもインターンシップによって、日頃の業務を改めて考える良い機会を得られたと思います。2週間ご苦労様でした。またいつか一緒に仕事ができると良いですね。

公務員を目指す方だけでなく、将来農業関係の仕事をと考えている方もインターンシップをご利用されてみてはいかがでしょうか。

農林水産省インターンシップのお知らせ  
<http://www.maff.go.jp/internship/index.html>



このメールマガジンに関するご意見・ご要望などがございましたら、下記までご連絡願います。

e-fukyu@nm.maff.go.jp  
03-3502-8111 (4278)

バックナンバーは、普及事業ホームページ  
<http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/fukyuuka/newsite/index.htm>  
から閲覧できます。

配信先の変更、配信停止等につきましては、農林水産省のホームページから手続きをお願いいたします。  
農林水産省ホームページ→メールマガジン→配信変更・配信解除（パスワードが不明な場合はパスワード再発行）へ進んで手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/mail/index.html>

---

\*\*\* ご注意 \*\*\*

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。  
PDFファイルをご覧頂くためには、農林水産省ホームページにある  
「Get Acrobat Reader」のボタンでAcrobat  
Readerをダウンロードしてください。

---